

教育センターだより

9月



435号 令和8年9月1日

砺波市教育センター HPはこちら

〒939-1398 砺波市栄町7番3号

TEL 33-1559 FAX 33-1157

E-mail tonami-ec@tonami-city.ed.jp



あつい なつ あつい まなび

日差しというより火を浴びているかのような酷暑のなか、教育センター研修会にご参加いただき、誠にありがとうございました。

研修会では、学びに向かう先生方の姿に大変感銘を受けました。休憩時間にできた講師の先生への質問の長い列。グループ協議で提案発表者に次々と寄せられた質問。そして「自園の研修に活かしたい」と熱心に耳を傾ける保育者の姿。振り返りには、入力欄いっぱいの学びと実践への決意。一つでも多くの研修に参加しようとする姿勢。夏休みの研修では、先生方の強い熱意が溢れていました。

熱いのは夏の気候だけではありません。研修や学びに対する先生方の情熱です。砺波市の教育を支える皆様の凄みを、改めて実感いたしました。

まだまだ暑い日が続きますが、今回の学びが今後の教育実践において一層花開くことを心より期待しております。



研修のあしあと

期日・研修会名・演題・講師		参加者より
7月23日(木) 学習支援員・スタディメイト研修会 「特別な支援を必要とする 子供の理解と支援」 富山県総合教育センター 教育相談部 研究主事 堀川 千晶先生・片平 尚美先生		・目の前の子供が必要としている助けは何か、そもそも助けを今必要としているのかと、一步引いて見つめて考えることを意識したい。 ・すぐ支援を行うのではなく、子供の様子を観察したり本人と話し合ったりして、本人からやる気が出る支援を目指したい。
7月27日(月) 自由進度学習・個人探究研修会 「自律した学び 子どもが 主役の授業づくりについて」 加賀市立動橋小学校 校長 野田 美由紀 先生		・子供たちが、自分たちで進められるヒントや動画等の準備、子供の考えの予想、ゴールの共有をしていきたい。 ・「なぜするのか」「何のためにするのか」を全教職員はもちろん、全校みんなで共有することが大切である。
7月28日(火) 「研究主任研修会」		・よい授業を見る機会の担保のために、互見授業を企画していく。子供たちに学びをしっかり委ねることを共通理解していきたい。 ・校内研修では、子供にどんな姿になってほしいのかの視点を常にもち、方法が目的にならないようにしていく。

7月29日(水) 生徒指導講演会 「いじめ重大事態を防ぐために」 上越教育大学いじめ・生徒指導研究研修センター長 教授 高橋 知己 先生 	・「いじめ」という行為だけに目を向けるのではなく、子供と向き合い、小さな気付きを大事にしていきたい。 ・ちょっとした案件でも「重大事態」と捉えてみる、そしてすぐに管理職に報告することを心がけたい。
7月～8月 保認小中若手教員育成研修会 「夢中になって遊び込む子供」 ・南部認定こども園 ・北部認定こども園 ・東部保育所 ・出町認定こども園 ・太田認定こども園 ・庄下保育所 	・よくないことをしたときに否定的な言葉で関わるのではなく、次につながるためのプラスな言葉がけを私も真似したいと感じた。 ・「子供の思いを活かす・取り入れる」「一緒に活動を楽しむ・喜びを分かち合う」「教師の出場を見極める」ということを大切にしなければならないと感じた。
8月 4日(火) 学力向上研修会 「自立した学習者の育成に向けた授業づくり」 淑徳大学 教授 青山 由紀 先生 	・「わかった、できた」で終わるのではなく、「獲得した武器を使ってみたい」「使えた！」までを構想することを2学期から大事にしたい。 ・学びを深める楽しさを味わう経験を積み重ねることで、知的体力がついていくと思う。見方・考え方を明確にできる教材研究を心掛けたい。
8月 5日(水) ICT スキル研修会 「Canva とミライシードの活用」 ベネッセ ICT 支援員 木谷 智美 先生 	・ミライシードの新機能も知ることができたので、2学期に向けた授業準備や教材研究に活かしていきたい。 ・子供にとって価値ある活動につながることで、時短につながることを意識し、適切に活用していきたい。
8月10日(月) 「ミドルリーダー育成研修会」 	・生成 AI を使った授業や単元を構想すること、朝にその日のやることリストを作ることに取り組んでいきたい。 ・子供と共有できることは共有したり、子供に委ねられることは任せたりし、自分で動けるようにしていきたい。
8月18日(火) 授業力向上研修会 「デジタル教科書を十全に活用した授業づくり」 放送大学 准教授 小林 祐紀 先生 	・自立した学習者の育成のため、子供とともに授業づくりをしていきたい。みとりを大切にしたい。 ・自分の授業観を転換し、誰1人取り残さないために、私が変わらねばならない。まずは、自由進度学習にチャレンジしていきたい。
8月20日(木) 「幼児教育・小学校教育 接続推進研修会」 	・子供たちの為に何が出来るといふ思いを一つにして話し合い、お互いの思いや考えを共有できた事が、とても良かった。 ・生活科のなかよし集会に向けて、子どもが主体となる活動を園の先生方と相談の上で決めていきたい。